



学校だより

令和3年5月31日

6月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



「日枝っ子との出会い」

副校長 山田 太一

今年度、石井 晃副校長の後任として着任した山田太一と申します。新任副校長ということもあり、至らない点もあると思いますが、「生き生き日枝っ子」の実現を目指し精一杯、努めて参ります。保護者、地域の皆様のご理解とご協力よろしくお願い申し上げます。

副校長の朝は、清掃活動から始まります。毎朝、学校の外周りのごみ拾いを行っていますが、時々、地域の方から「ご苦労様です」「ありがとう」と声をかけられることがあります。子どもたちのために行っている活動ですが、地域の方からの励ましのおかげで、楽しく掃除をすることができています。毎日掃除をしていると、ごみの数が少しずつ減っていると感じています。また、掃除をして身の回りがきれいになると心もスッキリします。先日行われた「日枝っ子友の会こーでいねーたー会議」でも、地域の清掃活動をしたという保護者の方のご意見がありました。地域の皆様のお力をお借りして、きれいな日枝の町にしていけたら素敵だなと思います。

副校長は職員室にすることが多く、なかなか子どもたちと接する機会がありません。そこで、できるだけ授業の様子を見に行くようにしています。廊下で子どもたちとすれ違ったときには、「おはようございます」や「こんにちは」と進んであいさつをしてくれる日枝っ子が多いです。職員室に鍵を取りに来る子どもたちも「失礼します」「ありがとうございました」と礼儀正しくあいさつをすることができます。まだ、数か月のことですが、日枝っ子のよいところにたくさん出会うことができ、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。これからも日枝っ子のよい面をたくさん見つけ、伝えていきたいと思っています。

先日、校外委員の皆さんと登下校の安全を確かめるために学区を回りました。道路の路面標示や標識、ガードレールなど様々な場所を点検しました。補修をする箇所や表示が必要な箇所については、スクールゾーン対策協議会で要望書を提出します。警察や土木事務所、区役所など、それぞれの関係機関と連携しながら、子どもたちの安全を守っていきます。ハード面での対策だけでなくソフト面での対策も必要です。マチコミメールでもお伝えしておりますが、吉野町3丁目の交差点を含めて、気をつけなければならない場所がたくさんあります。これまでも地域の方が見守りをしてくださっていますが、保護者の方の見守り活動へのご協力が欠かせないと考えています。できる範囲で構いませんので、朝の登校時のボランティア活動にご協力いただけると幸いです。今後ともご協力よろしくお願いいたします。